



# 花さき山



タイトル文字：滝平二郎

## 映画会

「九十歳。何がめでたい」  
(上映時間 99分)

日時：4月19日(日)  
① 10:00～ ② 14:00～  
場所：明野図書館 視聴覚室  
事前申し込み不要です。  
※2回とも内容は同じです。

## お誕生日おはなし会

日時：4月25日(土)  
11:00～



絵本の読み聞かせや手遊びで  
楽しみましょう。

※事前申し込み不要です。

育児コンシェルジュによるおはなし会

毎週土曜日

11:00～11:30

【育児コンシェルジュ】

10:00～14:30

## こどもの読書週間イベント 【図書館でスタンプラリー】

場所：明野図書館  
期間：4月1日(水)～5月31日(日)  
内容：図書館の本を借りてスタンプを  
集めよう！スタンプがたまったら  
景品をプレゼント♪  
対象：小学生以下  
※事前申し込み不要です。



## 4月の特集コーナー

### 「チルタイム おすすめ本」

チルとは、まったりの意味。  
お気に入りの本と一緒にほっと  
一息つきませんか？  
お待ちしております。



## ★クイズに挑戦！！★

### 【今月の問題】

新入学はなぜ4月？



※答えが待ちきれない方は→  
前月号の答えは「残雪の中から若草が芽を出  
し桃の花が咲き誇るから」でした。

## ○明野図書館カレンダー○

2026年4月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

■: 休館日



感謝を込めて、故桐原光明氏を偲ぶ

このたび、桐原光明先生のご逝去の報に接し、謹んでお悔やみ申し上げます。  
明野図書館ならび館報「花さき山」に多大なご支援を賜りました。そのご厚情とご功績を偲び、心よりご冥福をお祈りいたします。

明野図書館館長 鈴木俊之

### 「郷土史を考える会に参加して。」

～二宮尊徳的堅実農業と舟木真（ただし）的大規模農業を学んで～

羽賀 晃

私は農業機械メーカーに勤務していました。現役最後の数年間（平成15年（2003年）頃）、業務連絡等で各営業拠点に伺い、営業マンとの対話を心掛けていました。

その際、拠点営業マンに同行し、お客様と会話する事も楽しみでした。

銚田支店の営業マンと同行した折、大型トラクターを数台保有し大規模農業経営しているごぼう（牛蒡）専業農家を訪問しました。連作は不可能とされているごぼうの連作を可能にする栽培技術をお持ちでした。

この地域では、露地メロン、さつまいも、ジャガイモ等、長年の栽培技術の蓄積で規模拡大型農業を実践されていました（機械化農業です）。

他地域に先駆け共同選果場を運営し、品質の均一化、糖度計の導入など消費者重視の物作りを心がけ先進的農業経営を実践されている地域でもあります。

銚田市は涸沼（ひぬま）と北浦に挟まれた地区で、東は太平洋です。

この大地に、下館藩士舟木真（ただし）が明治12年（1879年）耕牧大規模農業を目指し800町歩を開拓しようと試みました

（平成25年11月9日桐原先生の郷土史講座より）。

又、銚田市徳宿の苺栽培農家訪問の折、栽培技術が未熟で仲間も少なく安定的な増収に不安がある…。という話を聞き、栃木県二宮町で「とちおとめ」商品化に貢献した篤農家（とくのうか）を紹介し、二宮町の苺ハウスを見学させてもらう等交流を深めました。

当時、二宮町の苺栽培面積は一人当たり一反歩、ご夫婦で二反歩位、収穫をパートさんをお願いして三反歩弱が平均的農家の栽培面積でした。近年は栽培技術の進歩向上により面積、収入共格段に増えていると思います。

二宮町の苺農家を銚田に案内し、圃場を見てもらった帰りの車中で、銚田市で家族四人労働での一町歩の栽培は無理だ、苺を甘くみている。と指摘された事、記憶に残っています。

二宮町では尊徳翁の堅実的農法が見受けられ、尊徳翁農法が忠実に実践、実行させている姿が見受けられます。

舟木真の大規模農業構想は計画通り進みませんでした。その思い、志は現在しっかり受け継がれています。

先人のたゆまぬ努力と継承によって、困難を乗り越えた農業人の姿があります。現在真岡市二宮町、銚田市共に豊かな農作物生産地域になっています。

四半世紀も前の私事ですが懐かしい郷土史の一ページです。

（はが あきら／筑西市郷土史を考える会 会員）

—くらしに生かそうみんなの図書館—